

# FUBAR

2020

大会概要

# 目次

## 初めに

## 大会概要

開催要項  
各種注意事項

## レギュレーション

各種規定  
武器規定  
その他の規定

## 状況

夜間状況  
昼間状況  
統制事項

# 初めに

本イベントは第二次世界大戦（以後 WW2 と表記）でミリタリーシミュレーションを楽しむイベントです。撃ち合いを主眼とした通常のサバイバルゲーム、歴史再現を目的としたリエナクトメントではございません。

募集部隊、装備規定等に合わない、満たしていない方の参加はお断り致します。

（緩いイベントとして「ハ島攻防戦」も主催しております。装備規定が厳しいと思われる方はそちらでご参加下さい）

## 大会概要

### ・開催要項

1. 大会名称

FUBAR2020 「マルチライン攻防戦」

2. 日時

2020 11/28～11/29

3. 場所

サバイバルゲームフィールド「マルチワールド」

4. 参加費

一般参加 6500 円

内訳

フィールド代 5000 円

糧食代 1000 円

資材費 500 円

5. 参加資格

① 18 歳以上の方。

② ルールやマナーの守れる方。

## 6. 申込方法

① レギュレーション、注意事項を熟読の上、「エントリーフォーム」からお申込下さい。

※ **参加申込期限は 11/16** までです。

※ できるだけ 11/28 からの参加をお願いいたします。

## 7. タイムスケジュール

### 1 日目

10:00 開門、受付開始

12:00~16:00 防御準備、訓練

16:30 全体ブリーフィング

17:00~19:00 宿営準備

19:00~00:00 夜間状況

00:00~06:00 状況一時中断

### 2 日目

06:00 起床

07:15 防御側配置完了

07:30~14:00 状況

14:30~15:30 撤収作業、ゴミ拾い

17:00 完全撤収

## ・ 各種注意事項

### 1. 宿泊について

① 会場にてキャンプ泊が可能です。運営、フィールドからキャンプ資材、宿泊中の食料等は一切提供いたしません。

② 直火での火気の使用は禁止です。コンロ等を使用して下さい。

③ 宿泊場所はドイツ軍、連合軍で異なります。運営の指示に従ってください。

④ 大会中に発生したゴミ等は各自ごとお持ち帰りください。

⑤ 11/28~29 にかけて 1 夜 2 日の連続状況で開催いたします。可能な限り**寝袋、テント等をご持参して宿泊**していただけると助かります。

## 2. 食事について

- ① 状況中の食事（11/28 夜～11/29 昼）については運営で用意いたします。個人ごとカトラリー（食器類）をご用意ください。
- ② 配給するもの以外で食べたいもの等がありましたら各自でご用意下さい。
- ③ 食物アレルギー等がございましたら各人ごとご申告下さい。

## 3. 来場に関する注意事項

- ① お車でお越しの際は、駐車場の関係上可能な限り乗り合わせでお越し頂けると助かります。
- ② 11/28 19：00 以降に来場の方はフィールド受付にて受付を行ってください。その後速やかに準備を整え、荷物を持って各陣営小隊本部に出頭してください。
- ③ 00：00 以降に来場の方は翌 06：30 以降に受付を行います。
- ④ ゲーム進行上 **11/29 07：00 までにご来場下さい。**

## 4. 事故・怪我に関する注意事項

- ① 開催期間中に発生した事故、怪我、盗難、銃器の破損、その他のトラブル等に関して運営、フィールド管理者は一切責任を負いません。
- ② 本イベントは屋外の不整地で実施される、危険を伴うレクリエーションイベントであることを十分理解した上でご参加ください。
- ③ 状況中はいかなる場合でもゴーグルを外さないでください。

## 5. 状況中の注意事項

- ① 状況中は分隊長等から命令を受けます。他人に指示されるのが嫌いな方は参加をお勧め致しません。
- ② 状況中の指示のない勝手な単独行動（状況を壊す様な行動）は禁止です。サバイバルゲームではありません。
- ③ 他の分隊の隊員を勝手に指揮下にいけないでください。

## 6. その他の注意事項

- ① 18 歳未満の参加はお断り致しております。
- ② 下記にある各種規定の規定違反を発見した場合、注意勧告をさせていただきます。勧告後も是正されない場合は退場していただきます。
- ③ 強制退場となった場合の参加費の返却は行いません。

- ④ 過度のゾンビ行為、個人に対する侮辱、暴言、威嚇行為は禁止です。
- ⑤ タバコは喫煙スペースでのみお願いいたします。
- ⑥ 屋外イベントですので虫等の防護は個人ごとお願いいたします。
- ⑦ 本大会の規定は予告なく変更・改定される場合がございます。
- ⑧ 新型コロナウイルスが流行しております。体調に少しでも不安がある方は参加をご遠慮下さい。また、受付にて検温を実施いたします。

# レギュレーション

## ・各種規定

### 1. 募集部隊

#### (ア) 枢軸

- ① ドイツ国防軍陸軍 歩兵

#### (イ) 連合

- ① アメリカ合衆国陸軍 歩兵、空挺歩兵、グライダー歩兵
- ② 大英帝国陸軍 歩兵、空挺歩兵、グライダー歩兵

### 2. 装備規定

下記は状況中（ゲーム中）、最低限必要な装備となります。これに満たない方は参加をお断り致します。

#### (ア) ドイツ国防軍 陸軍

- ① M36～M43 野戦服（HBT 不可）
- ② M35～M42 ヘルメット
- ③ 装備ベルト及び陸軍バックル
- ④ 雑のう、水筒
- ⑤ 弾薬盒 2 個又は使用火器に合ったポーチ類
- ⑥ 銃剣
- ⑦ ガスマスクコンテナ
- ⑧ ストレートスコップ又は折り畳みスコップ
- ⑨ ジャックブーツ又はアングルブーツ及びガマシェン

#### (イ) アメリカ合衆国陸軍

- ① M41～M43 フィールドジャケット及びトラウゼース又は M42 空挺服
- ② M1 ヘルメット
- ③ カートリッジベルト又はピストルベルト及び使用火器に合った弾薬ポーチ類
- ④ 水筒
- ⑤ ファストエイドポーチ
- ⑥ アングルブーツ及びレギンス、ツーバックルブーツ又はジャンプブーツ

(ウ)大英帝国陸軍

- ① P37～P40 バトルドレス又はデニソン・スモック
- ② Mk. I ～Mk.Ⅲ ヘルメット又は空挺ヘルメット
- ③ 装備ベルト
- ④ アンモポーチ 2 個
- ⑤ サスペンダー
- ⑥ 水筒
- ⑦ ブーツ及レギンス

(エ)全軍共通

- ① 火薬式パンパン銃（国産のカネコ製を推奨します）
- ② カトラリー及び飯盒等の食器（市販の現行品も可）

(オ)備考

- ① ドイツ軍参加者はスコップ・つるはし・のこぎり等、陣地構築用の機材を持参下さい。（通常の民生品で可）
- ② 実物、レプリカは問いません。レプリカの良し悪しも問いません。
- ③ 代用品も使用可能ですが、あまりにもかけ離れた物は禁止です（ゴム長靴等）
- ④ 「これは使えるのか？」等ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡下さい。

3. 階級

(ア)募集階級

- ① 下士官、兵階級を募集します。
- ② 下士官で参加される場合、分隊長を任せる可能性があります。分隊の指揮ができる又は分隊指揮をやりたいという方のみ下士官での参加を推奨します。

※兵階級での参加を推奨いたします。

4. 役職

(ア)分隊長

- ① 各分隊の指揮を執っていただきます。
- ② 運営上必要な連絡、命令、指示等は全て分隊長に連絡いたします。分隊長は必ず分隊員に連絡してください。
- ③ 連絡不足で遅延等が発生した場合、当該分隊にペナルティを科します。

- ④ 分隊長は上記の装備以外に時計を持参ください（マップケース、双眼鏡の持参も推奨いたします）

(イ)機関銃手

- ① 機関銃の運用は機関銃手と弾薬手の2人1組で行ってください(BARは除く)。
- ② 機関銃の射撃は基本的には脚（バイポット）を使用して行ってください。ただし、各国ごとの規定に則った射撃姿勢であれば立射も可とします（サバゲーの様に機関銃を振り回すのは禁止です）
- ③ 機関銃手は上記の装備以外に弾薬箱1個以上を持参ください
- ④ 機関銃手希望者で弾薬手候補が決まっている場合は申し込み時に弾薬手の氏名をご連絡ください。

※一度決定した役職の交代・変更は、状況終了までやむを得ない場合を除き不可とします。

## ・ 武器規定

### 1. 武器等

(ア)使用可能武器

- ① WW2時に各国が正式採用していた銃器に限る。
- ② 各陣営にあった物を使用してください。
- ③ 鹵獲兵器の使用は使用例の有無に関わらず禁止です。

※主力小銃での参加を推奨します。

(イ)初速・駆動ソース

- ① 電動、ガス、エアーコッキングが使用可能です。
- ② 初速は0.2gで0.98J以下（法定初速の範囲内）でお願いいたします。

(ウ)ホップ制限

- ① 小銃弾を使用する火器（小銃、機関銃）は適正ホップで使用可能です。
- ② 拳銃弾を使用する火器（拳銃、短機関銃）はホップなし（ホップ0）でお願いいたします。
- ③ Stg44等の突撃銃は適正ホップで使用可能です。

(エ)その他

- ① 銃声の再現として火薬式のパンパン銃を使用してください。

## 2. 弾薬

### (ア)使用弾薬（BB弾）

- ① 0.2g 6mmバイオBB弾のみ使用可能です。
- ② 色に指定はありません。

### (イ)所持弾数

※下記の所持弾数はマガジンに入った状態での持ち込みになります。（マガジンに入っていない状態では持ち込み禁止です）また、所持弾数は上限ですので記載された数持ち込まなければならないわけではありません。（少ない分には構いません）

#### ① ドイツ国防軍

小銃	約 60 発
短機関銃（SMG）	約 400 発（ローダー大 2 個分）
突撃銃（StG）	約 480 発（多弾マガジン 1 個分）
機関銃	約 1000 発（市販 BB ボトル小 1 個分）
拳銃	ノーマルマガジン 1 個

#### ② アメリカ合衆国陸軍

小銃	約 130 発
短機関銃（SMG）	約 400 発（ローダー大 2 個分）
分隊支援火器（BAR）	約 640 発（多弾マガジン 4 個分）
機関銃	約 1000 発（市販 BB ボトル小 1 個分）
拳銃	ノーマルマガジン 1 個

#### ③ 大英帝国陸軍

小銃	約 50 発
短機関銃（SMG）	約 400 発（ローダー大 2 個分）
機関銃	約 1000 発（市販 BB ボトル小 1 個分）
拳銃	ノーマルマガジン 1 個

### (ウ)その他

- ① 予備弾薬として分隊ごとにBBボトルを支給いたします。ゲーム中、弾補給はBBボトルの弾のみ使用可能です。（予備の弾は支給したボトル以外では持ち込み禁止です）
- ② 弾薬箱を携行する場合は、弾薬箱の数分追加でBBボトルを支給いたします。

## ・その他の規定

### 1. カメラマンについて

- ① カメラマン（撮影のみ）での参加も可能です。
- ② 使用するカメラに制限はありません。一眼レフ等をご使用ください。
- ③ カメラマンに装備の規定はありませんが、雰囲気壊さない様な服装での参加を推奨しています。

### 2. その他

- ① ゴーグルはクリアタイプの目立たないものを使用してください。メッシュタイプ、色付きグラスは禁止です。
- ② フェイスガードも使用禁止です。顔の防護が気になる方はトーク、マフラー等の雰囲気を壊さない物で防護をお願いします。
- ③ 視力矯正メガネは現代風の物も使用可能です（アンティークな丸眼鏡の使用を推奨しています）。

# 状況（ゲーム）

## ・夜間状況（11/28 夜）

1. 夜間細部状況（19：00～2：00）
  - (ア)連合（攻撃）
    - ① 夜間斥候・翌日の攻撃準備を実施。
  - (イ)枢軸（防御）
    - ① 夜間状況終了まで交代で歩哨勤務。
2. 参加について
  - ① 夜間状況はやむを得ない場合を除き全員参加となります。
  - ② 安全確保の為、ハンドライト（現用品可）を持参ください。
  - ③ 00：00 に状況を一時中断し以後仮眠時間とします。起床時刻は 06：00 としますが各軍計画とします。

## ・昼間状況

1. 状況
  - (ア)連合（攻撃）

敵の抵抗を排除しつつ、カニシュッタットへの進撃経路を確保せよ。
  - (イ)枢軸（防御）

連隊防御計画に基づきマルチラインにて敵の侵攻を阻止せよ。
2. 準備期間
  - (ア)連合（攻撃）
    - ① 基本教練
    - ② 障害処理（鉄条網）訓練
    - ③ 攻撃予行
  - (イ)枢軸（防御）
    - ① 防御準備
    - ② 築城（障害構成、掩体構築）
3. 目標

(ア)連合（攻撃）

- ① E16 号線上の敵を排除し同経路の安全を確保する。
- ② L514 と L114 の交点まで敵の抵抗を排除しつつ前進、交点を確保せよ。
- ③ 交点確保後は逆襲対処。

(イ)枢軸（防御）

- ① L114 経路上に展開、同地域を防御せよ。
- ② 事前計画に則り逆襲を実施せよ。

## ・統制事項

### 1 復活

受傷部位に応じて、軽傷、重傷、死亡の負傷レベルが付与されます。負傷レベルに応じた処置をとることで復活できます。

※復活方法が複雑になっておりますので熟読をお願いいたします。

(ア)軽傷

受傷部位：四肢（両手足）

- ① 負傷部位に自分で包帯を巻くことで、その場で復活となります。
- ② 包帯使用後に再び軽傷を負った場合は重傷判定となる。
- ③ 包帯は一人一つ支給されます。自分の包帯を他人に使わないでください。

(イ)重傷

受傷部位：胴体部

- ① 味方に救出（肩を貸してもらって移動）してもらい小隊本部まで後送されれば即復活。
- ② 負傷後、5 分以上待っても救助が来ない場合は各人の判断で死亡判定に移行できる。
- ③ 重傷待機中に再び撃たれた場合は死亡判定となります。

(ウ)死亡

受傷部位：頭

- ① 各人ごと小隊本部に向かい死亡申告をしたのち、ペナルティを受け復活。

(エ)砲撃

- ① 砲撃の命中判定者は重傷判定となります。重傷者に則った処置を受けてください。

#### (オ)備考

- ① どこを撃たれたかわからない場合は重傷判定と同様の処置を受けてください。
- ② 重傷待機中はその場を動かないでください。
- ③ 包帯を使用した場合、重傷・死亡判定で復活する際にリセットされ再び使用できるようになります。
- ④ 復活のため小隊本部を訪れた際は、自身が重傷か死亡かを必ず申告してください。

### 2 分隊編成

- ① 運営で事前に分隊を編成致します。同じ分隊になりたい場合は申込の際にチーム名をご記入ください。
- ② 分隊長 1 名、機関銃手 1 名、弾薬手 1 名、小銃手 7 名（10 名）を基準とするも各国の規定通りにできる場合はそれに従う。
- ③ 分隊内で指揮継承順位を定めておいて下さい。（分隊長死亡時復帰まで誰が指揮をとるかの順番です）

### 3 各種再現について

#### (ア)障害処理について

- ① 破壊筒の再現は塩ビパイプとロケット花火で再現します。
- ② 破壊筒の破壊範囲再現のため状況現示要員が障害の切断・破壊等を行いますので誤射等に注意してください。

#### (イ)砲撃について

- ① 攻撃側、防御側共に砲撃が可能です。砲撃の指示は原則小隊長が行います。
- ② 砲撃は状況現示要員によって爆竹と笛で再現致します。砲撃が行われる際はまず笛が吹かれ、その後爆竹が鳴ります。
- ③ 損害はランダムで状況現示要員によって命中判定が下されます。命中者は重傷扱いとなります。
- ④ 命中判定は姿勢の高い人物に与えられる可能性が高いです。笛が鳴ったら伏せましょう。（伏せていても命中する場合があります。祈りましょう）

### 4 その他

- ① 行方不明防止のため稜線を超えて（山、丘の斜面をこえて）進むのは禁止です。

- ② 状況現示要員、カメラマンへの誤射にご注意下さい。
- ③ 写真に写りたくない方は自己防衛をお願いいたします。